

年次支部ニュース

第10号

特集



ホーム カミングデー



ごあいさつ

協議会は62の年次支部をつなぐ糸

年次支部協議会 代表幹事
半澤 勉
(46会支部長)



このたび、年次支部協議会の代表幹事に推薦され就任いたしました。年次支部協議会は学員による学員のための組織として、明るく魅力あるそして多様性を備えた活動を通じ母校中央大学、学員会の発展、興隆のためさらに努力してまいりますので、皆様の絶大なご協力をお願い申し上げます。

年次支部協議会はこれまでも諸先輩の方々が立派にその職責を全うされて参りましたが、本年平成30年4月から、より効率的な組織運用を図るべく会則の一部改正、組織の簡素化に着手し、財政の安定化、ガバナンスの強化、活発なコミュニケーションの醸成を目指し、一局(事務局)三部(大学・学員交

流部、学生後援部、広報部)制を新たに設置しスタートいたしました。前執行部の相場代表幹事はじめ幹事、役員、旧委員会の皆様の2年間に亘るご努力に心より御礼申し上げるものであります。

年次支部は、大先輩から新卒年次に至るまで62支部がそれぞれ活動を継続しておりますが、その年次支部間をつなぐ糸の役割を負っておりますのが年次支部協議会であります。現在、さらにダイナミックな活動を行うため年次を超えた執行部の若返りに着手し、年間数次に亘る全体会議、執行部役員会を開催し、支部代表の幹事の皆さまとの意見交換を図り、意思疎通の深度

化に努めているところであります。また本年10月7日に開催される第27回ホームカミングデーには学員会本部への協力チームを作るなど積極的に参加協力することとしております。

これからも大先輩、中堅、若年層の学員が志を一つに「ONE CHUO」の精神をもって、白門の絆を大切に念頭におき、母校中央大学の栄光への架け橋としてのさらなる発展、そして学員の皆様の交流が末広がり展開して参るよう執行部一同、切磋琢磨して参りまいります。皆様の倍旧のご理解、ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

思い出のホームカミングデーに寄せて

白門48会20周年の軌跡

白門48会支部は今年度6月に20周年記念総会・講演会・懇親会を開催しました。

思い起こせば、20年前駿河台記念館に10数名の有志で準備会を結成した後、中央大学ホームカミングデーにおいて、中央大学より卒業25年、50年の招待年次呼びかけで参加された同期生100名以上の入会を募り、48会支部を設立することができました。あの時の呼びかけがなかったら現在の48会は存在しなかったかもしれないと思うと感慨深いものがあります。

その後は、箱根駅伝応援などを中心に活動を続け、現在の在籍数はほぼ450名です。活動目玉の伊勢、出雲、箱根の三大大学駅伝応援には毎年駆けつけ、伊勢神宮や、出雲大社にも参拝し駅伝応援周辺の観光も楽しみました。東北、関西、九州に支部を設立し全国の同期生との交流も図りつつ大学へ貢献もしてきた活力のある48会でしたが、活動目玉の駅伝不振や、加齢による健康不良などで、最近はパワーダウンしてきた感も否めませんでした。

ところが先日の記念総会に講師の



記念講演をする遠藤利明元五輪担当大臣

遠藤利明元五輪大臣はじめ酒井総長、林常任理事、瀬川学員会副会長など各分野で活躍されている同期生にも集合して頂いた効果でしょうか、想像以上に青春時代の再現の様な活気が会場にみなぎったのには感動しました。

20年間には、多くの同期生、全

きました。

また毎年3月には、宝塚鑑賞会やワインの会など女性ならではの会を催してきましたが、本年3月にはアロマの会を開催しました。自分の星座や性格にあったアロマを自分で作り、幸運を招こうというものです。講師は、会員で、銀座にナチュラルというお店を開いている関あや子さん。はじめにエッセンシャルオイルの基礎知識やアロマの効用を学んだ上で、化学の実験のように、オイルに何種類かのフレーバーを足して、自分好みのアロマを作っていきます。久しぶりに童心に帰って楽しかったのですが、驚いたのは、今年は香港に

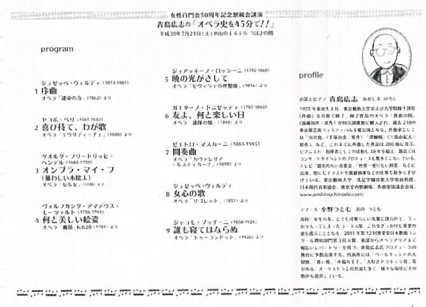
設立50周年を迎えた女性白門会

女性白門会 会長・支部長 植野妙実子 (昭和48年卒)

中央大学女性白門会は、女性の学員だけで構成される支部として1968年に設立され、翌年学員会支部として正式に認められました。本年2018年で設立50周年を迎えました。女性の卒業生だけで構成されている卒業生の会は珍しいと、サンデー毎日にも紹介されました。設立当時、女性卒業生は2000名にもものぼっていたのに、学員会支部への女性の参加が少なかったこと、女性の地位向上を目指す必要があると感じたことなどが、女性だけで構成される学員会支部を設立するきっかけになったといわれています。

現在、女性白門会は、女性だけが集まっているという特徴を活かす活動に力を入れています。1980年代より、女子学生の就職活動を支援する会、「ウイングの会」(当初はつばさの会)を立ち上げ、中央大学を卒

業する女性の社会進出をサポートしています。昨年は、12月に多摩校舎で、実践女子大学キャリアセンター部長の串崎美美子氏をお招きして、「女子学生のための就職活動マナー講座」を開催しました。就職説明会や会社訪問、入社試験の面接などにおいて必要な所作、身だしなみ、表情、名刺の受け渡しに至るまで細かく指導をいただきました。学生に対してだけでなく我々の日常のお付き合いにとっても、改めて目を開かせる中身の濃い指導や指摘をいた



記念講演プログラム



中大の中大生による中大生のための落語 『中大落語会』今年も賑やかに開催さる!

白門57ネット支部広報役 松本作和子



20周年記念総会に集まった同期生たち

国の学友、先輩後輩、教職員の方々との出会いがあり、中央の人脈は本当に素晴らしいと思います。今年のホームカミングデーでも48会カレッシュップを毎年継続して出店しています。多くの懐かしい出会いがありますようにと願わずにられません。
(48会幹事長 佐藤愛子記)

進出する予定、という講師の意気込みです。このように交流から刺激を受けることも多くあります。

50周年の記念の会は、7月21日に山の上ホテルで行いました。懇親会にはテレビでもおなじみの作曲家、青島広志氏をお招きして「オペラ講座」を開催しました。オペラが歴史的にどのように発達してきたのか、テノールの小野勉氏の歌声とともにたどりました。50周年を機に、女性白門会の記念誌『羽ばたく女性』を作成しました。この50年の歴史は中央大学卒業の女性の歴史とも重なります。今後も、女性の一層の活躍を願って、活動を続けていきたいと思っています。



平成30年7月21日、中央大学駿河台記念館550号室において、年次支部協議会と白門57ネット支部共催による恒例の『中大落語会』が開催されました。

今年は記念すべき第一回のゲストであった桂やまと師匠を再びお迎えしての真夏の暑気払い。

昨年度より年次支部協議会の全面ご支援を賜り、客席は57ネットの他、「三十年会」、「白門45会」、「白門46会」、「白門48会」、「白門50会」、「白門53会」、「白門1984会」、「出版白門会」など、支部横断的に大勢のお客様で今年も満員札止め。会場の熱気でエアコン、フル稼働でもまったく効力無し。期待も室温もアツイ!

開会に先立ち、はじめに年次支部協議会の半澤勉代表よりご挨拶を頂戴し、続けて白門53会の野田明利会長のご挨拶を頂き、57ネットからは浜田英明会長が挨拶。

そして、いよいよ桂やまと師匠が登場。師匠に、話のマクラで、控室の暑さと、廊下で師匠をお待たせした時間の長さを、軽くツッコまれ、まず爆笑。

この日のやまと師匠の演目は『あくび指南』と『幾代餅』の古典落語二題であった。特に「廓嘶」で「人情嘶」という、ダブルに高度な話芸が必要とされる『幾代餅』は実に圧巻の聴き応え。今は影も形もないはずの吉原遊廓のきらびやかな光と影が、まさに眼前に現出したような錯覚に酔い痴れた。

東京は荒川区出身のやまと師匠の歯切れのいい江戸弁は、まるで清流

に跳ねる若鮎のごとく涼を誘い、今年の災害レベルの酷暑をしばし忘れさせてくれたのであった。

終了時には白門46会名誉会長で元年次支部協議会代表の増田晃次郎氏と、堀合辰夫中央大学学員会副会長よりそれぞれご挨拶を頂戴し、大盛況で幕。

その後、冷めやらぬ盛り上がりそのままに、ゲストの師匠も、年次支部の重鎮の大先輩方も全員巻き込んだの大宴会。毎度のことながらあつという間に莫大な量の酒類が消費され……お後が宜しいようで。

この行事も今年で第五回目を数える。年次支部の枠を超えた、この楽しい夏の催しが今後も永続的に回を重ね、年次支部協議会の目玉イベントとして、さらに多くの会員の皆様方のふれあいの場となっていくことを切に願うものである。



開催日時

2018年10月7日(日) 10時～16時(予定)

	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30
スペシャルイベント	1部 式と音楽の祭典 《式典》 10:00～10:30 ←9号館 校歌斉唱。親子三代表彰ほか 《白門音楽祭》 10:30～11:30 ←9号館 中大横浜中高合唱団、白門グリークラブ(学員)混声合唱こだま会(学生)による懐かしい名曲		2部 我が人生の大いなる軌跡			
学生会体育会スポーツ企画			11:00～15:00		ペDESTリアンデッキ	
新企画	10:00～15:00		1406号室		[作品展示] 学員の絵画、書道等を展示、呈茶コーナーあり	
メインステージ企画			《福引大抽選会》		11:00～16:00 [三角くじ]	
陸上競技場	《第3回白門駅伝大会》		10:30～14:00			
ヒルトップ4Fで再会しよう!!					《卒後周年学員懇親会》 12:00～13:00 [卒業後50年学員]	

栄光への架け橋、中央大学は世界一!

第27回 中央大学 ホームカミングデー

2018年10月7日(日) 10:00～16:00
*開門は8時から!

おかえり卒業生! 多摩キャンパス

特別企画

我が人生の大いなる軌跡
～母校中央大学のカと誇りを語る～
13:30～15:00 (8時限大教室)

政界、財界、法曹界、官界で経験と実績を積まれた学員の皆さまに、母校中央大学を誇っていただきます。

式と音楽の祭典
10:00～11:30 (9号館)

昨年引き続き、式典と白門音楽会を融合した歓迎式典を行います。

新企画

芸術の秋、文化の華、私の趣味の世界
10:00～15:00

作品展示(協力:絵画同好会、書道會) 抽選会
作品展示から募集した絵画・書道などの作品を展示いたします。呈茶コーナー併設。

演奏会 (協賛:音楽部)
学員会支部等に企画した演奏会を行います。

学生会体育会企画

スポーツ企画
11:00～15:00

- 試合応援活動の陣
- 現代メダリストのバネル展示と有望選手の等身人形展示
- 珍しいトレーニング機器の展示および体験
- スポーツグッズの販売と休憩スペースの開設

※本大会は安全と多量な来客があります。ご心配ください。

ほか白門寄席、上念司(経済評論家1993年法卒)講演会、親子企画など盛りだくさん!!

楽しみながら来て・見て・感じるイベント盛りだくさん!

家族と!仲間と! 中央大学で! たくさん笑おう!
第3回 白門駅伝大会
10:30～14:00

多摩キャンパス 学生運動の歴史と今一緒に楽しもう!
はくもん寄席
13:00～15:00

ご家族の皆さまと一緒に楽しんでください!
卒業後50年学員懇親会
12:00～13:00
卒業後25年学員懇親会
14:30～15:30

一緒に校歌・応援歌を歌いましょう!
応援即演奏
15:15～15:30

お楽しみください!
福引抽選会
11:00～15:00

今年も盛り上がります! 必ず当たる三角くじも当たる嬉しい特別抽選会!
福引抽選会
11:00～15:00

英室(白門)でゆかりのした時間短縮が得意!
呈茶
11:00～15:00

色んなお店で交流の輪を広げよう!
無料相談コーナー
11:00～15:00

お子連れ歓迎! わくわく楽しい遊びがいっぱい!
ふれあい企画
11:00～15:00

お子さんとポンポンを持って楽しく遊ぼう!
ふれあい企画
親子ポンポン教室
14:00～15:00

不器用で面白い実験を通して科学的楽しさを学べます!
ふれあい企画
リリアジのわくわく
こども実験教室
11:00～12:30
13:30～15:00

豊富な数、テレビもラジオでも活躍中!
上念司(経済評論家)講演会
13:00～14:00

開催場所

中央大学多摩キャンパス

13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00

《ビッグ座談会》 13:30～15:00 8号館大教室
～政界、財界、法曹界、官界から
母校中央大学の力と誇りを語る～

← ヒルトップ2F

8号館大教室 → [演奏会] 学生会支部の演奏

イブ》【1回目】13:00～13:45

【2回目】14:00～14:45

《応援団演舞》 15:15～15:30

《特賞抽選会》 15:30～16:00

卒業後50年・25年の皆様お帰りなさい。
懇親会場で懐かしい人との再会を
楽しんでください。

14:30～15:30 [卒業後25年学员懇親会]



懇親会]

白門44会 リンゴジュースほか

年次支部販売ブースのご案内

カレーライス 白門48会

青森三戸産のりんごは例年大好評で即完売していましたが、今年はホームカミングデーの日程が10月7日に早まり、りんごの収穫に間に合いませんでしたので、直送の美味しい三戸りんごジュース、トマトジュース、トマト、田子町産のニンニク等を販売します。又りんごの予約販売(一箱@3500円、11月～12月配送予定)を受付します。

白門りんごの会は今や会員100名を超えていて、入会後は年2回、収穫したての新鮮な美味しいりんごが送られてきますので是非お立ち寄りください。

朗報は、東北支援の町おこし、地域おこしとして青森三戸産のりんご

ブランドの普及・拡大の夢をのせて始まった白門りんごの会によって、5年目にして青森三戸町と本学理工学研究所との間に連携協定が締結されたことです。協定とは「農作業アシストスーツ装置の普及促進に向けて連携し、農作業の負担を軽減することによる労働力不足解消を図ること」を目的にしていますが、地元青森県や近県からも大きな期待を寄せられ中央大学ブランド力アップにも貢献しています。(詳しくは6頁参照)



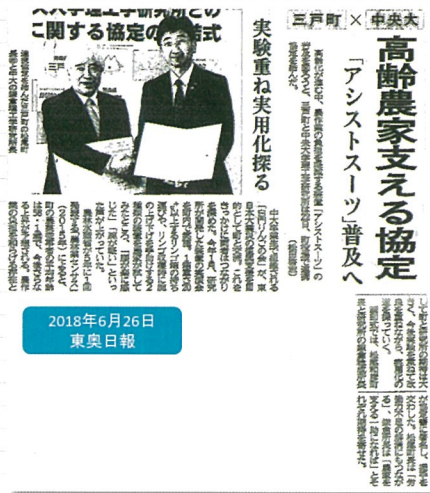
数年前より、カレーには定評のある中村屋のオリジナルカレーを販売しています。

ビーフ・チキンの二種類は、絶品かつ安価(500円)で販売! カレーの香りに誘われ一度食したらまた食べたくなる深みのある味わいで、リピーターのお客さんも増えています。

是非完売する前に、お早めにお立ち寄りください。お待ちしております。

白門りんごの会が繋ぐ!! (白門44会支部) 農作業に朗報!!

青森三戸町と理工学研究所が協定締結



2018年6月26日
東奥日報

2018年6月22日(金)、青森県三戸町で町と本学理工学研究所との個別連携協定式が執り行われた。

締結式には本学理工学研究所鎌倉稔成所長(理工学部教授)が出席し、松尾和彦三戸町長と共に協定書に署名した。今回の個別連携協定は、中大卒業生で組織される「白門りんごの会」が、東日本大震災の復興支援を目的として組織され、かねてより青森県三戸町との交流を図ってきたのがきっかけとなった。2018年1月に理工学部中村研究室が開発中の装着型アシストスーツの実演・体験会を青森県三戸町と共同して、同町のりんご生産者向けに実施したことが縁で実現することになった。連携協定は「農業アシスト装置の普及促進に向け連携し、農作業の負担を軽減することによる労働力不足の解消を図ること」を目的としてスタートするが将来的には本学理工学研究所がもつ知の資産を活かし、より広範囲に連携することを目指す。

松尾町長は、「農家の高齢化や女性・若手農家(若者のUターン)への頼もしい味方になるのではないかと

労働力不足解消につながることを期待している」と話され、鎌倉理工学研究所所長は、「社会の中で大学の研究が果たす役割の必要性が増しており今回の連携協定によって農作業の新しいお手伝いが出来れば」と話された。

地方公共団体との協定は地域と大学とを繋ぐことになり、中央大学を広くアピールでき少子化に向かう中、受験生の志望校選択時に良きヒントになる可能性がある。三戸町に限らず青森県内及び近県にも好影響を及ぼし中央大学ブランド力向上に大いに寄与すると考えられる。

2017年度の日経BP社の大学ブランド力調査49項目の「地域産業に貢献している」では中央大学は54位であり他の項目より極めて評価が低い。低い評価をアップさせるためにも、これを機に、中央大学に地域連携協定先が増加していくことを大いに期待したい。

調停式当日には青森テレビ(当日のニュース番組で放映)、地元デーリー東北、東奥日報の取材があり記事が掲載されたそうである。

地域交流事業

年次支部の皆様へ

日頃より学会会の活動にご協力いただき深く感謝申し上げます。

さて、「中央大学学会会」は、今年10月に「創立130周年」を迎えます。

学会会本部は、本年度の事業目標に「更なる行動による学員(支部)交流と大学ブランド力の向上を目指して」を掲げ、全学員、全支部、並びに、中央大学の協力を得て、「地域」との交流を図る「近畿白門祭」を企画しました。

この「近畿白門祭」は、中央大学学員会近畿ブロック(兵庫白門会、京都白門会、奈良白門会、滋賀白門会、和歌山白門会、大阪白門会)の125周年記念事業として行う「地域交流事業」ですが、「学会会本部」と「近畿ブロック」が「主催者」となり「中央大学」が「共催者」となる「初め

歴史あるOB会支部

東京木曜会

東京木曜会は、中央大学卒業生の同窓の会であり、異業種交流を通じて、情報の交換・市場の開拓を行い、もって会員の事業の発展に寄与することを目的としています。この目的達成のために、例会(奇数月の第3木曜日)・旅行会・ゴルフ会等の会員の親睦活動、箱根駅伝・野球等の応援を行って、会員同士の懇親を深める場にするなどして、1990年(平成2年)から続いている会になります。

「近畿白門祭」に参加しよう

中央大学学員会本部
事業担当副会長

瀬川 徹

での事業」です。

また、地域の学校、父母会、地域の学員、企業、マスコミ等の支援を頂いております。

この事業は、右記の日時に2部構成で行ないます。

【記】

開催日時 平成30年11月18日(日)、午後1時30分から

開催場所 大阪国際交流センター(大阪市天王寺区上本町8丁目2-6)

(内容) (第1部)「中央大学音楽研究会吹奏楽部-大阪講演」午後1時30分～

中央大学の共催を受けて中央大学音楽研究会吹奏楽部が公演します。

大阪府の高等学校2校の吹奏楽部、及び、大阪在住のクラリネット奏者稲本渡氏とのコラボにより「地域との交流」を図り「中央大学」のプレゼンスを高めます。

(第2部)懇親会「白門学員の大集合」午後5時～
近畿地区の学員だけでなく「全国の学員・支部」が一堂に参集し、相互交流を深め、皆で、初めての「近畿地域の白門祭」を盛り上げ「中央大学」のプレゼンスを高めましょう。

年次支部の皆様、平成30年11月18日(日)には、近畿地域への小旅行を兼ねて、是非、「近畿白門祭」に参加しましょう。お待ちしております。

東京木曜会の歴史をさかのぼると、まず大分県から始まります。中央大学学員会大分支部には、会員有志で作った「木曜会」という集まりがあり、この会の趣旨は「県支部では大先輩が多く、なかなか若手が交流できない面があるので、若手主体で会を作り、各自の仕事にも交流の効果が出るようにしたい」ということで、毎月木曜日に会合を持ち、交流・懇親を深めておられたそうです。



この「木曜会」に参加していて、転勤などで退会せざるを得なくなった方々が、東京でも異業種交流会を作ろうと、旧「木曜会」のメンバーが中心となり「東京木曜会」を発足されたのでした。

同門の志が折々集い、知恵を出し合って自己啓発と共に、各々の置かれた立場での職務遂行に役立てればと願ってスタートされ、いわゆる異業種交流の原点で、多くの人から自分の足りない点を吸収し、お互い成長していこうとの考えで、例会では外部講師を招集したり、会員の卓話を聞くなどして、年を重ねグレードアップして、現在、例会172回、総会29回を数えるまでに至っております。

会を有効に活用し、会員自身が大

いに飛躍していくことが、会の本質であると思っておりますので、どんどん新しい方に興味を持っていただければ幸いです。なお、ホームページも定期的に更新しておりますので、そちらでも活動状況はご覧いただけます。

ぜひ、東京木曜会で素晴らしい「縁」を見つけましょう。

幹事長 福田博司





同窓の輪を 広げよう！

中央大学では卒業生を学員と呼び、2015年に創立130周年を迎えた56万人の同窓会です。学員会支部には249支部があり、地域126支部（国内・海外に居住・在勤する学員組織）、職域61支部（職種・企業・出身サークルなどの組織）、年次62支部（その年に卒業した年次の組織）で構成されています。様々な分野で活躍している56万人のネットワークを繋ぎ、皆さんが交流・発信する場を提供しています。

どんなサービスや支援があるの？



- ▶ 学員時報、ホームページ等による情報発信
- ▶ 学員交流の場所の提供（東京白門サロン・駿河台記念館7F、[大阪]近畿白門サロン（ガーデンシティクラブ大阪）平日のみ営業）
- ▶ ホームカミングデー（大学主催）への協力
- ▶ 学術・文化講演会の開催
- ▶ 学員カードによる図書館利用、契約ホテルの優待価格利用、施設の割引、オープンカレッジ受講など特典多数



- ▶ 活動支援金の交付
- ▶ 支部役員会開催の為に会議室提供
- ▶ 学員増強の為に情報提供

この他にも母校中央大学への資金協力及び在学生への奨学支援、進路相談会、学術文化・スポーツにおける優秀学生表彰などを行っています。

問い合わせ先

《中央大学学員会本部事務局（本会の運営及び事務処理）》

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5 駿河台記念館7F
TEL: 03-3219-6175 / <http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/gakuinkai>

年次支部協議会執行部役員

役職	担当	氏名	卒年次
代表幹事	募金推進	半澤 勉	S46
副代表幹事	総括・広報	堀合 辰夫	S30
副代表幹事	事務局	小竹 正倫	S39
副代表幹事	学生支援	佐々木幸男	S40
副代表幹事	大学・学員交流	鈴木 康二	S42
副代表幹事	広報・事務局	佐藤 愛子	S48
副代表幹事	大学・学員交流	掛水 省三	S54
副代表幹事	大学・学員交流	乘兼 浩明	S57
副代表幹事	事務局・IT推進	小川 学	H元
広報部長		佐藤 愛子	S48
広報部副部長		柳 幸季	S58
大学・交流部長		掛水 省三	S54
大学・交流部副部長		浜田 英明	S57
学生後援部長		才野 智裕	S46
学生後援副部長		久保 良太	H11
事務局長	事務総括・募金推進	清野 強	S50
事務局次長	IT担当	小川 学	H元
事務局次長	事務担当・募金推進	清水 裕之	H2
会計幹事		平岩 弘邦	S45
会計監査	HCD、募金推進	相場 有二	S45
顧問	問	柳田 晋次	S39
顧問	問	松木 茂夫	S44
顧問	問	室 勝弘	S45
顧問	問	山城 博光	S45
顧問	問	増田晃治郎	S46
顧問	問	小田 眞一	S48
顧問	問	山本 卓	H2



箱根駅伝
予選会

10月13日(土)
9:35スタート
陸上自衛隊立川駐屯地～立川市街地～
国営昭和記念公園

新規会員の参加を歓迎します!!

各年次支部は、同期会の集まりで大学、学員会会員との繋がりで活動しています。

- ▶ スポーツ応援「陸上・水泳・野球・ラグビー他」（箱根駅伝の応援、東都大学野球応援、オリンピック選手などの応援ほか）
各年次支部の活動…好みの活動に任意に参加ができます。
- ▶ 会員間のビジネス交流で人脈の拡大、更に先輩・後輩との繋がりを醸成
- ▶ 趣味の一致で、幅広い交流とコミュニケーションの充実
- ▶ 同期生の各職専門家との交流で、信頼感をもって問題解決への導きを図る
- ▶ 講演会、セミナーなどへの参画により自身の教養などを向上させる

《加入などの問い合わせ》学員会事務局：03-3219-6175

《年次支部ニュース 第10号》 2018年10月5日 発行

発行者／中央大学学員会年次支部協議会
発行人／半澤 勉
編集／年次支部協議会広報部

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学学員会事務局気付
TEL 03-3219-6175
印刷所／(株)ディスカバリー